

令和2年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 令和2年度第1回理事会（※理事全員の同意による決議の省略）

ア 決議があったものとしてみなされた日

令和2年5月29日（金）

イ 決議があったものとしてみなされた事項

- ・議案第1号 平成31年度事業報告及び決算報告について
- ・議案第2号 令和2年度事業計画の変更について
- ・議案第3号 会長の選任について
- ・議案第4号 令和2年第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 令和2年度第1回評議員会

ア 日時及び場所

令和2年6月17日（水） 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 平成31年度事業報告について
- ・議案第1号 平成31年度決算報告について
- ・議案第2号 令和2年度事業計画の変更について
- ・議案第3号 理事及び監事の選任について
- ・議案第4号 評議員の選任について

(3) 令和2年度第2回理事会

ア 日時及び場所

令和2年10月21日（水） 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和2年度事業計画及び収支予算の変更について
- ・議案第2号 令和2年第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(4) 令和2年度第2回評議員会（※評議員全員の同意による決議の省略）

ア 決議があったものとしてみなされた日

令和2年10月30日（金）

イ 決議があったものとしてみなされた事項

- ・議案第1号 令和2年度事業計画及び収支予算の変更について
- ・議案第2号 理事の選任について

(5) 令和2年度第3回理事会

ア 日時及び場所

令和3年3月15日（月） 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和3年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 令和2年第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(6) 令和2年度第3回評議員会

ア 日時及び場所

令和3年3月25日(木) 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 令和3年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 理事の選任について

(7) 令和2年度第4回理事会

ア 日時及び場所

令和3年3月29日(月) 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 理事長の選定について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演42回】

新型コロナウイルス感染症に伴い13公演17回が中止となったが、17公演25回（定期公演11回、企画公演5回、普及公演9回）を実施した。

ア 公演実績（カッコ内は年度計画の数値）

区分	公演名	公演数	回数
定期公演	組踊	5 (6)	5 (6)
	琉球舞踊	3 (6)	4 (7)
	三線音楽	0 (2)	0 (2)
	沖縄芝居	1 (2)	2 (4)
	民俗芸能	0 (1)	0 (1)
		9 (17)	11 (20)
企画公演	新作組踊	1 (1)	1 (1)
	アジア・太平洋地域の芸能	1 (1)	1 (1)
	本土の芸能	1 (2)	1 (2)
	その他	2 (2)	2 (2)
		5 (6)	5 (6)
研究公演	琉狂言	0 (1)	0 (1)
普及公演	組踊鑑賞教室	3 (4)	9 (11)
	琉球舞踊鑑賞教室	0 (1)	0 (1)
	沖縄芝居鑑賞教室	0 (1)	0 (3)
		3 (6)	9 (15)
合計		17 (30)	25 (42)

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は巻末に掲載

イ 実施状況

全ての公演制作において新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった公演もあったが、稽古数、出演者数の見直しや演目を定番物に変更するなどの工夫により劇場公演継続の努力を図った。

定期公演では、復曲の上演・再演の組踊「伊祖の子」や上演実績が多い組踊「手水の縁」を上演し、日本博事業により英語字幕用タブレットの貸し出しを行った。

なお、「伊祖の子」は、組踊保存会で復活上演された作品で、当時復活上演に関わった先生に指導を仰ぎ、細かい動きは当時の映像を参考に稽古に取り組み、それに加えて新たな動きも加味し、より深く組踊の面白さを追求した。

企画公演では、「ゑんま堂狂言」は中止となったが、「琉球講談」は小劇場から大劇場に会場を変更し観客数確保に努めた。10月「ゆらていく遊ば」は、映像を活用した演出や、本公演との関連企画として冊子「語やびら芸能ゆんたく」を発行するなど工夫を行った。

また、「アジア・太平洋地域の芸能」は、海外から招聘できないため、国内で活躍している実演家で企画し、「国立劇場寄席」も感染対策を工夫し実施した。

普及公演では、組踊鑑賞教室「執心鐘入」（10月）、「二童敵討」（11月）を上演し、組踊の魅力をより多くの方々に気軽に楽しんでいただけるよう、組踊の歴史や鑑賞ポイントなど解説を交えて実施した。

なお、中止となった公演では、三線音楽公演「古典音楽の美」について人間国宝中村一雄氏による古典音楽独唱「世渡節」を収録・配信し、沖縄芝居鑑賞教室については歌劇「泊阿嘉」、喜劇「亀さんよ」及び「黒島王」の前半部分について、無観客で映像を収録し配信を行った。

(2) 自主公演の開催準備

令和3年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を令和2年8月14日（書面審議）、令和3年3月26日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

新型コロナウイルス感染症の影響のため、県外公演の実施に代えて、今後のインバウンド回復など国内外からの誘客や組踊等沖縄伝統芸能の普及促進を図るため、上演機会の多い組踊演目の広報用映像の制作や多言語字幕を作成した。

広報用映像：「執心鐘入」、「二童敵討」（フルバージョン、ダイジェスト版）

多言語字幕作成：「執心鐘入」、「二童敵討」、「銘苺子」、「女物狂」、「孝行の巻」について、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の翻訳字幕データ作成

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業

観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。（20件54台分助成）

また、劇場への理解を深める機会を設けるため、8月1日及び2日に劇場バックステージツアー・組踊ワークショップを実施するとともに、11月13日に恩納村立山田小学校でおでかけワークショップを開催した。

その他、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策啓発用動画の制作などを行った。

(5) 地域の文化芸術振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、離島・北部地域でおでかけ公演が実施できないため、これらの地域でも鑑賞できるよう期間限定で組踊鑑賞教室「執心鐘入」及び「二童敵討」の動画配信や広告を実施した。

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

・公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。

- ・チラシを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（350団体）にチラシを配布した。
- ・沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」、「PRTIMES」 「うらそえナビ」、「VISIT OKINAWA JAPAN」、「じゃらんnet」、
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」「おきなわ倶楽部」（以上月刊誌）、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」（以上季刊誌）、「そらくる沖縄」（年1回）

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・国立劇場おきなわの紹介、嘉数芸術監督出演。（沖縄テレビ放送のテレビ番組「RYUGIN GOOD NEWS」（7/25）。
- ・3月にテレビで組踊公演本編配信PR動画を複数回放送。
- ・「モモト VOL. 44、45」にて自主公演の案内を掲載。

エ その他

- (ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。
- (イ) 令和3年度自主公演年間予定表（上半期）の多言語版（英語・仏語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。
- (ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA4サイズ多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。
- (エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。
- (オ) 2021年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

- (1) 研修の実施（第6期組踊研修：令和2年4月～令和5年3月）【計画：10名】
組踊（立方・地方）：第6期（10名）の1年目の研修を実施。
立方6名及び地方4名（歌三線4名）

(2) 主な講師
宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢16名）

(3) 養成状況

ア 主な授業

組踊実技（立方、三線）、副実技（琉球舞踊、太鼓等）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球古典語基礎、詞章研究、組踊史跡見学、公演見学、研修発表会

イ 授業回数 合計433回

- ・組踊実技の実施（90分の268回 立方134回・地方134回）
- ・副実技の実施（90分の47回）
- ・基礎実技の実施（90分の92回）
- ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の16回）
- ・鑑賞・見学研修の実施（90分の8回）
- ・研修発表会の実施 2回

ウ 休暇等

夏季休暇 令和2年8月17日～9月3日

冬季休暇 令和2年12月21日～令和3年1月3日

(4) 研修生発表会の実施

ア 第六期組踊研修生第1回発表会：令和2年10月8日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「執心鐘入」
鑑賞者数：211名

イ 第六期組踊研修生第2回発表会：令和3年3月4日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球舞踊（かぎやで風、かせかけ）、組踊「二童敵討」
鑑賞者数：208名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和3年3月18日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第10回発表会：令和2年11月28日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球舞踊（かぎやで風、かせかけ、前の浜）、組踊「孝行竹壽之巻」
鑑賞者数：163名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	29	62	6	97
逐次刊行物	冊	77	147	26	250
公演・演出台本	冊	0	0	27	27
上演資料集	冊	0	6	2	8
合 計		106	215	61	382

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	1	15	16
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	26	26
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	26	26
DVD	枚	0	0	0	0
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	4	55	59
チラシ	冊	0	0	1	1
展示図録	点	1	6	0	7
冊 子	点	0	0	0	0
合 計		1	11	123	135

(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料、論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。

- ・国立劇場おきなわ上演資料集〈No.46〉「伊祖の子」、〈No.47〉「北山敵討」
- ・「琉球・沖縄芸能史年表 第12集(戦後篇7)」

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示した。

期 間	名 称	内 容
令和2年 7月11日(土) ～9月20日(日)※ 72日	第1回 企画展 「極める一人間国宝の 横顔一」	芸能を極め、人間国宝に認定された皆さんの楽器、衣裳、映像等の展示を通して、これまでの功績を振り返るとともに、普段知ることのできない様々な一面を紹介
令和2年 10月3日(土) ～12月20日(日) 79日	第2回 企画展 「首里城と芸能」	首里城で生まれた芸能「琉球芸能」や「からくり花火」と、首里城を舞台にした史劇「首里城明け渡し」など、首里城と関わる芸能を紹介
令和3年 1月16日(土) ～3月21日(日) 65日	第3回 企画展 「琉球舞踊を彩る織物」	琉球舞踊を彩る織物の数々、芭蕉布や琉球かすりなど、舞踊衣装に用いられる「織り」に着目した展示を行う。柳悦州氏所蔵コレクションも併せて紹介

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/11～6/21から変更

【3回の企画展示の入場者数合計(カウント数)】4,520名(216日間)

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（2回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を3回実施、入場者数合計340名。

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を3回実施した。※鑑賞会と同時開催

- ・首里城と芸能 史実と史劇「首里城明け渡し」（令和2年10月13日。111名）
- ・首里城と芸能 首里城のうとういむち（令和2年10月20日。115名）
- ・織物からみる琉球舞踊（令和3年2月10日。114名）

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：1,457名（うち一般244名）

映像・音声視聴：1,100件（1,407時間）、映像・音声複製：16件（32時間）

公開資料：平成16年度～令和2年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、県外公演（京都芸術劇場春秋座（11/29））に合わせて衣装の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和2年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	0	0	1	1	1	1
演劇	0	0	3	6	3	6
舞踊	6	14	5	13	11	27
古典音楽	0	0	2	4	2	4
民謡	0	0	1	1	1	1
民俗芸能	0	0	0	0	0	0
その他（講演会等）	4	5	2	4	6	9
計	10	19	14	29	24	48

【令和元年度実績との比較】

大劇場：件数で31件の減、使用日数で40日の減。

小劇場：件数で62件の減、使用日数で96日の減。

大劇場及び小劇場の合計：件数で93件の減、使用日数で136日の減

イ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	112件	375.5時間
中稽古室	154件	437.5時間
第1小稽古室	103件	340.5時間
第2小稽古室	281件	858.0時間
第3小稽古室	327件	772.0時間
第5小稽古室	190件	437.0時間
第6小稽古室	368件	925.5時間
養成研修室	98件	242.5時間
交流プラザ・会議室	48件	149.5時間
合計	1,681件	4,538.0時間

※令和元年度の実績と比較すると、件数で1,753件の減、使用時間で3,923時間の減。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の案内をホームページに掲載し、また、適宜貸劇場の空き日状況を掲載した。
- イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 令和3年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。
- カ 貸公演主催者へ向けて、「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」や「貸公演における対策の具体例」を郵送し、またホームページへも掲載することで感染対策の周知徹底を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 文化プログラム関連事業

(1) 組踊ワークショップ等の開催

組踊「執心鐘入」、組踊「花売の縁」、組踊「孝行の巻」及び組踊「手水の縁」の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを開催するとともに、近畿日本ツーリスト沖縄と連携し、組踊鑑賞教室「執心鐘入」及び組踊「伊祖の子」の公演日に琉球の歴史文化を学ぶ鑑賞ツアーを実施することで、県外観光客等の誘客を図った。（ワークショップ参加者計37名、ツアー参加者計28名）

(2) 企画展示における多言語リーフレットの作製

第2回企画展「首里城と芸能」の展示解説について、外国人向けに、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の翻訳パンフレット作成・無料配付し、組踊・琉球舞踊の魅力を紹介した。

(3) 県外からの誘客のためのプロモーション活動

10月29日から11月1日まで開催されたツーリズムEXPOジャパン「旅の祭典in沖縄」において、劇場PRブースを設置するとともに、ツーリスト関係者、一般来場者にチラシを配布するとともに、組踊への理解を深めてもらうため、ツーリスト関係者を対象とした観劇FAMツアー（10月組踊鑑賞教室「執心鐘入」）を実施した。

(4) 県外公演の実施

県外（京都市）において、琉球舞踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

・令和2年11月29日（日）／京都芸術劇場春秋座／1ステージ

(5) 電話通訳サービスの実施

外国人観客の来場時や電話での問合せに対応するため、多言語対応の電話通訳サービスを実施した。

(6) チケット管理システムの改修

外国人観客の利便性を図るとともに、新たな誘客につなげるため、チケット管理システムを英語化対応に改修し、令和3年1月からWebチケット販売サービス英語版の運用を開始した。

(7) 新しい劇場・公演創造経費関連事業

国の令和2年度第3次補正予算に係る事業で、新たな形態の公演の創出、再訪しなくなる劇場づくり、劇場からの新たな発信などが対象となっており、映像を活用した演出を行った「ゆらていく遊ば」、「男性舞踊家の会」等の公演や、中止となった沖縄芝居鑑賞教室の映像収録・配信、「語やびら芸能ゆんたく」の発行などを行った。

8 「日本博」関連事業

(1) 自主公演のうち日本博事業として実施した公演

- ・ 8月15日 親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」 ※公演中止
- ・ 10月31日 組踊鑑賞教室「執心鐘入」
- ・ 11月21日 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「二童敵討」
- ・ 12月12日 組踊「伊祖の子」
- ・ 3月13日 組踊「手水の縁」

(2) オーディオガイドシステム等の導入

組踊鑑賞教室「執心鐘入」において日本語・英語、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」において、日本語・英語・中国語・韓国語のオーディオガイドを全席導入し、また、組踊「伊祖の子」及び組踊「手水の縁」の公演では、英語の字幕タブレットを30台導入し、外国人客や初めて鑑賞する来場者などの観劇の手助けとした。

(3) 親子及び外国人のための組踊鑑賞教室に関する広告宣伝費

劇場への誘客を図るため、組踊鑑賞教室「執心鐘入」については、沖縄都市モノレールの車内広告を行い、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」については、モノレール2駅にポスターを掲示した。

(4) 組踊ワークショップ

組踊鑑賞教室「執心鐘入」、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」、組踊「伊祖の子」及び組踊「手水の縁」の開演前に組踊ワークショップを実施した。

また「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」のワークショップは外国人が参加できるように英語通訳を配置し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただいた。（参加者18名）

(5) 連続講座「首里城と芸能」

第一夜『史実と史劇「首里城明け渡し」』（10月13日）、第二夜『首里城のうとういむち』（10月20日）として、講座と関連映像の鑑賞を行い、10月20日の講座後は劇場前庭で琉球独自のからくり花火「双龍」を実演した。（第一夜参加者111名、第二夜参加者115名）

9 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加に取り組んだ。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
会員数	1,992	1,810	1,636	1,670	1,648	1,266

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施

自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、当劇場で活躍する実演家が、伝統芸能の魅力や演じるうえで工夫していること等をトーク形式で談話する「実演家 ザ談会」を開催した。（令和3年1月30日。参加人数66名）

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

- ・「友の会入会金0円キャンペーン」

8月から11月までに上演される普及公演のチケット購入者に限り、公演当日までの入会で入会金が0円となるを実施した。(新規入会者：24名)

- ・ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン(1月～3月)

既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈した。(新規入会者：22名)

エ 会員サービスの充実を図るとともにチケット販売を促進するため、5月から令和3年2月まで、「国立劇場おきなわ自主公演観劇ラリー」を実施し、3公演購入ごとに自主公演50%割引券1枚を進呈した。(実績：106名)

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	21件	2件	20件	43件
収入	金額	1,460千円	250千円	330千円	2,040千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

		職場
募金収入	件数	198件
	金額	1,089千円

(3) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和2年度アクセス件数509,736件(月平均42,478件)

イ メールマガジン(月1回発行)

ウ 国立劇場おきなわSNS(Facebook, Instagram, YouTube)において、随時公演やイベント情報を配信。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出演者	
1	定期公演	4月11日	昼	琉球舞踊	琉球舞踊鑑賞会	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2	定期公演	4月25日	昼	組踊	賢母三遷の巻	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3	定期公演	5月16日	昼	三線音楽	古典音楽の美	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
4	研究公演	5月23日	昼		琉狂言	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
5	企画公演	6月7日	昼	本土の芸能	ゑんま堂狂言	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6	定期公演	6月13日	昼	琉球舞踊	男性舞踊家の会	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7	定期公演	6月27日 6月28日	昼 昼	沖縄芝居	武士松茂良と平安山次良	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
8	企画公演	7月11日	昼	その他	琉球講談 第一部 「護佐丸誠忠録」 「北谷真牛～Bad Medicine」 第二部 マジムン怪談 「オーナチマヤー」 「片足ピンザ」 「遺念火」	宮城茂雄、当銘由亮 賀敷仁然、知念だしんいちろう、 村山靖、玉城匠 仲村渠達也、安慶名久美子、宇保朝輝、久志大樹、比嘉千咲、與那國太介、入嵩西諭、横目大通
9	定期公演	7月18日	昼	組踊	執心鐘入 第一部 琉球舞踊 「柳」「波平大主道行口説」「護身の舞」「浜千鳥」 第二部 組踊「執心鐘入」	親泊久玄、石川直也、平田智之、玉城盛義 田口博章、佐辺良和、川満香多、伊藝武士、島袋浩大、宮里光也、照喜名進、上原睦三、與那國太介、名護みのり、清村まり子、川平賀道、金城盛松
10	普及公演	8月8日	昼	琉球舞踊	琉球舞踊鑑賞教室	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
11	普及公演	8月15日	昼夜	組踊	親子のための組踊鑑賞教室 組踊「万歳敵討」	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
12	定期公演	8月29日	昼	琉球舞踊	琉球舞踊鑑賞会	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
13	普及公演	9月17日 9月18日 9月19日	昼 昼 昼	沖縄芝居	沖縄芝居鑑賞教室 第一部 沖縄芝居の楽しみ方 第二部 沖縄芝居「黒島王物語」	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
14	定期公演	9月26日	昼	組踊	花売の縁 第一部 琉球舞踊 「かせかけ」「前の浜」「瓦屋」 「むんじゅる」「加那よ一天川」 第二部 組踊「花売の縁」	山城重矢乃、真境名律弘、浦崎みゆき、前田千加子、新崎恵子、花城富士子 玉城盛義、宮城茂雄、宮崎花澄、平田智之、平田征之丞、島袋光晴、比嘉康春、喜納吏一、仲村渠達也、佐久田朝太、赤嶺和子、宮城英夫、金城裕幸、比嘉聡

期 日 等				公演名・演目	出演者
15	企画公演	10月3日	昼 その他	ゆらていく遊ば 喜劇「うるま西遊記」	玉城匠、知花小百合、高宮城実人、平良大、佐辺良和、阿嘉修、小嶺和佳子、宇座仁一、東江裕吉、花岡尚子、瀬名波孝子、八木政男、仲村逸夫、玉城和樹、和田信一、池間北斗、入嵩西諭、森田夏子、久志大樹
16	定期公演	10月18日	昼 民俗芸能	ふえーばる村踊り	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
17	普及公演	10月31日	朝昼 組踊	組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」	上原崇弘、比嘉克之、佐辺良和、東江裕吉、川満香多、岡本凌、嘉数幸雅、高井賢太郎、下地心一郎、新垣俊道、崎濱秀貴、徳田泰樹、新垣和代子、入嵩西諭、伊禮薫、宮里和希
18	企画公演	11月8日	昼 アジア・太平洋地域の芸能	アジア・太平洋地域の芸能～箏～ 第一部 琉球と日本本土の箏紹介 第二部 アジア地域の箏・琴紹介 第三部 アジア地域の箏曲の発展	日高貞子、宮里秀明、岡本陽子、伍芳、金美香、中西史子、池間北斗、名護みのり、比嘉千咲、新垣和代子、米須弥生、大城礼乃、山田多恵子、河原伴子、山田広恵、大城貴幸
19	企画公演	11月14日	夜 本土の芸能	国立劇場寄席 客寄囃子の実演解説、落語、紙切り、漫才	柳亭市馬、柳家さん喬、三遊亭歌奴、柳家やなぎ、林家二楽、青空一風・千風、井上りち
20	普及公演	11月18日 19日 20日	朝昼朝昼朝昼 組踊	組踊鑑賞教室「二童敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」	川満香多、玉城匠、比嘉克之、上原崇弘、田口博章、金城真次、新垣悟、島袋浩大、下地心一郎、高井賢太郎、花城英樹、玉城和樹、和田信一、町田倫士、澤井每里子、平良大、横目大通
21	普及公演	11月21日	昼 組踊	はじめての組踊 ～DiscoverKUMIODORI～「二童敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」	川満香多、比嘉克之、玉城盛義、田口博章、金城真次、新垣悟、島袋浩大、下地心一郎、高井賢太郎、花城英樹、玉城和樹、和田信一、町田倫士、澤井每里子、平良大、横目大通
22	定期公演	12月12日	昼 組踊	伊祖の子 第一部 琉球舞踊 「女こてい節」「坂本節」「若按司長刀踊り」「波平大主道行口説」 第二部 組踊「伊祖の子」	久手堅一子、松原和美、大城美由紀、宮城茂雄、池間隼人、宇座仁一、平田智之、金城真次、伊藝武士、知花令磨、玉城和樹、仲嶺良盛、金城亮太、山城暁、新垣俊道、仲村渠達也、宮城秀子、我那覇常允、川平賀道、宮里和希、宇座嘉憲
23	定期公演	12月19日	昼 琉球舞踊	男性舞踊家の会 第一部 「老人老女」「若衆こてい節」「四つ竹」「前の浜」「醜童」 第二部 「浜千鳥」「谷茶前」「川平節」「加那よ一天川」「金細工」	嘉数道彦、阿嘉修、金城真次、玉城匠、東江裕吉、佐辺良和、田口博章、川満香多、上原崇弘、宮城茂雄、大浜暢明、石川直也、玉城盛義、新垣悟、花城英樹、與那國太介、大城貴幸、新垣俊道、仲村逸夫、新垣勝裕、糸数成美、町田倫士、横目大哉、徳田泰樹、久志大樹

期 日 等				公演名・演目	出演者
24	定期公演	1月16日 1月17日	昼 昼	琉球舞踊 琉球舞踊特選会 1月16日 第一部 「かぎやで風」「稲まづん」「乙女笠」「本花風」「かりゆしの海～網打ちちゃー小」 第二部 「女扇舞」「恋の花」「加那よ一」「後花風」「真津がま」 1月17日 第一部 「作田」「前の浜」「日傘踊り」「でいぐぬ花心」「瓦屋」 第二部 「波平大主道行口説」「女こてい節」「花風」「加那よ一天川」	【1月16日】海勢頭あける、又吉世子、安次富紀子、島袋君子、宮城能造、宮城豊子 渡久地美代子、我那覇則子、比嘉涼子、玉城静江、古謝弘子、比嘉美好、金城光子、金城盛松 【1月17日】佐藤太圭子、親泊興照、玉城秀子、玉城節子、宮城幸子 島袋光晴、又吉静枝、宮城能鳳、谷田嘉子、金城美枝子、比嘉聰 【16日・17日共通】西江喜春、玉城和樹、大城貴幸、平良大、安慶名久美子、宮城英夫、比嘉康春、新垣俊道、仲村逸夫、棚原健太、宮里秀明、仲田治巳、森田夏子
25	定期公演	1月30日	昼	組踊 孝行の巻 第一部 琉球舞踊 「ぜい」「かせかけ」「高平良万歳」「浜千鳥」「取納奉行」 第二部 組踊「孝行の巻」	棚原由里子、神山穂紫乃、島袋秀乃、東文子、宮城小寿江 親泊久玄、宮城茂雄、玉城匠、真境名律弘、嘉手苺林一、佐喜眞一輝、川満俊祐、岡本凌、玉城慶、川満香多、下地心一郎、照喜名進、照喜名朝國、上原睦三、横山太陽、米須弥生、宇保朝輝、又吉恭平、横目大通
26	定期公演	2月6日	昼	三線音楽 唄方	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
27	定期公演	2月13日 2月14日	昼 昼	沖縄芝居 チャー木の精 第一部 琉球舞踊「鳩間節」「畑どうない」 喜劇「お産と泥棒」 第二部 時代人情歌劇「チャー木の精」	川満香多、玉城匠、伊藝武士、廣山えりか、玉城知世 真栄田文子、上原崇弘、山城亜矢乃、伊禮門綾、石川直也、高宮城実人 伊良波さゆき、玉城盛義、奥平瑠留、宇座仁一、平良進、玉城静江、山城峻称、瀬名波孝子、高井賢太郎、玉城慶、喜舎場香純、米盛未来、伊波留依 新垣俊道、喜納吏一、新垣勝裕、林杏佳、大城建大郎
28	定期公演	3月13日	昼	組踊 「手水の縁」 第一部 琉球舞踊 「柳」「揚作田」「花風」「川平節」 第二部 組踊「手水の縁」	城間千恵美、阿嘉修、宮城裕子、新垣江里子、新垣麻里子 田口博章、佐辺良和、石川直也、宇座仁一、池間隼人 仲村逸夫、棚原健太、玉城和樹、仲嶺良盛、池間北斗、入嵩西諭、前田博美、久志大樹
29	定期公演	3月20日	昼	琉球舞踊 歌舞集 新南島風土記 『ニライの島』 第一部 「海の幸」「谷茶前」「海のちんぼーらー」「潮波一小」「南洋浜千鳥」「磯千鳥」 第二部 歌舞集 「新南島風土記・ニライの島」	砂川美鈴、嘉数幸雅、佐渡山也子、喜屋武愛香、照屋優菜、赤嶺啓子、大城由紀子、富里敬子、山川昭子、大城直江、長山真由美、宮崎花澄、仲村夕乃、仲村華乃 新崎恵子、比嘉清子、花城富士子、呉屋かなめ、小嶺和佳子、山城亜矢乃、與那國恵、廣山えりか、喜納彩華、島尻紀希、宇座仁一、仲宗根弘将、伊藝武士、上原崇弘、高井賢太郎、比嘉克之 大城貴幸、平良大、和田信一、花城英樹、横目大哉、大城建大郎、町田倫士、豊里美保、與那國太介、横目大通

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
30	企画 公演	3月27日	昼	創作舞踊と新作組踊 第一部 創作舞踊 「初はじち」「籬内」「春夜の 梅」「若衆鯉」 第二部 新作組踊「塩売」	山城垂矢乃、比嘉清子、金城真 次、真境名由佳子、喜屋武愛香、 仲村圭央、仲地理紗、具志佳奈、 照屋優菜、伊野波盛人 東江裕吉、上原崇弘、阿嘉修、金 城美枝子、糸数彰馬 大湾清之、與那国太介、横目大 哉、池間北斗、入嵩西諭、横目大 通、新垣俊道、仲村逸夫、棚原健 太、宮里和希、與那覇徹、仲村渠 達也、安慶名久美子、金城裕幸、 森田夏子、宮良康正、宮良享男

【自主公演入場率】

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月11日	琉球舞踊鑑賞会	昼	一席	一人	—%	621席	466人	75.0%
2	4月25日	「賢母三遷の巻」	昼	一席	一人	—%	563席	349人	62.0%
3	5月16日	古典音楽の美	昼	一席	一人	—%	617席	401人	65.0%
4	5月23日	琉狂言	昼	一席	一人	—%	563席	366人	65.0%
5	6月7日	ゑんま堂狂言	昼	一席	一人	—%	617席	432人	70.0%
6	6月13日	男性舞踊家の会	昼	一席	一人	—%	621席	497人	80.0%
7	6月27日	「武士松茂良と平安山次良」	昼	一席	一人	—%	564席	395人	70.0%
8	6月28日	「武士松茂良と平安山次良」	昼	一席	一人	—%	579席	405人	70.0%
9	7月11日	琉球講談 ※大劇場へ変更	昼	318席	270人	84.9%	249席	174人	69.9%
10	7月18日	「執心鐘入」 ※演目変更	昼	287席	237人	82.6%	563席	349人	62.0%
11	8月8日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	一席	一人	—%	564席	395人	70.0%
12	8月15日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼夜	一席	一人	—%	1,156席	751人	65.0%
13	8月29日	琉球舞踊鑑賞会 ※演目変更	昼	一席	一人	—%	621席	466人	75.0%
14	9月17日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	一席	一人	—%	564席	423人	75.0%
15	9月18日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	一席	一人	—%	579席	434人	75.0%
16	9月19日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	一席	一人	—%	579席	405人	70.0%
17	9月26日	「花売の縁」 ※演目変更	昼	287席	254人	88.5%	563席	349人	62.0%
18	10月3日	ゆらていく遊ば	昼	257席	228人	88.7%	564席	423人	75.0%
19	10月18日	南風原町の民俗芸能「ふえーばる村踊り」	昼	一席	一人	—%	617席	401人	65.0%
20	10月31日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝昼	574席	527人	91.8%	578席	405人	70.1%
21	11月8日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	308席	235人	76.3%	617席	401人	65.0%
22	11月14日	国立劇場寄席	夜	317席	287人	90.5%	621席	497人	80.0%
23	11月18日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,152席	686人	59.5%	1,156席	867人	75.0%
24	11月19日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,152席	626人	54.3%	1,156席	867人	75.0%
25	11月20日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,122席	540人	48.1%	1,156席	867人	75.0%
26	11月21日	Discover KUMIODORI～「二童敵討」	昼	285席	263人	92.3%	563席	394人	70.0%
27	12月12日	「伊祖の子」	昼	308席	252人	81.8%	563席	349人	62.0%
28	12月19日	男性舞踊家の会	昼	308席	271人	88.0%	621席	497人	80.0%
29	1月16日	琉球舞踊特選会	昼	308席	230人	74.7%	621席	435人	70.0%
30	1月17日	琉球舞踊特選会	昼	308席	279人	90.6%	621席	435人	70.0%
31	1月30日	「孝行の巻」 ※演目変更	昼	306席	252人	82.4%	563席	349人	62.0%
32	2月6日	唄 方	昼	一席	一人	—%	617席	401人	65.0%
33	2月13日	「チャー木の精」	昼	241席	188人	78.0%	564席	395人	70.0%
34	2月14日	「チャー木の精」	昼	246席	187人	76.0%	579席	376人	65.0%
35	3月13日	「手水の縁」	昼	308席	275人	89.3%	619席	349人	62.0%
36	3月20日	歌舞集	昼	241席	209人	86.7%	563席	466人	75.0%
37	3月27日	創作舞踊と新作組踊	昼	308席	270人	87.7%	617席	401人	65.0%
合計				8,941席	6,566人	73.4%	23,761席	16,632人	70.0%

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、13公演が中止となった。